

JIS

放射性物質で汚染された表面の除染 — 除染の容易性の試験及び評価の方法

JIS Z 4507 : 1998

(2003 確認)

(2008 確認)

平成 10 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。

今回の改正では、日本工業規格と国際規格との整合性を図るため、ISO 8690 : 1988 (Decontamination of radioactively contaminated surfaces—Method for testing and assessing the ease of decontamination) を附属書として採用した。

JIS Z 4507には、次に示す附属書がある。

附属書1 (規定) 評価方法B (ISO法)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 37.9.1 改正：平成 10.7.20

官報公示：平成 10.7.21

原案作成協力者：社団法人日本原子力産業会議

審議部会：日本工業標準調査会 電気部会 (部会長代行 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課 (☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

放射性物質で汚染された表面の除染 Z 4507 : 1998

—除染の容易性の試験及び評価の方法

Decontamination of radioactively contaminated surfaces—Method for testing and assessing the ease of decontamination

序文 この規格は、1988年に発行されたISO 8690, Decontamination of radioactively contaminated surfaces—Method for testing and assessing the ease of decontaminationを基に、本体には、従来規定していた方法を評価方法Aとして規定し、附属書には国際規格で規定している方法を評価方法Bとして規定した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、材料の表面が放射性物質によって汚染されるおそれのある表面の除染のしやすさの試験及び評価の方法に適用する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、これを引用することによって、この規格の一部を構成する。これらの規格は最新版を適用する。

JIS Z 4401 放射線測定用試料皿

3. 評価方法の種類 評価方法の種類は、表1のとおりとし、評価方法の主眼によってA又はBのいずれかを選択する。

表1 評価方法の種類

| 種類 | 評価方法の主眼 |
|-------|---|
| 評価方法A | 試験データのばらつきを考慮するよりも、どこでも評価ができることを主眼とし、本体に規定する評価方法。 |
| 評価方法B | 試験データのばらつきを極力抑え、実験室条件下での評価を主眼とし、附属書に規定する評価方法。 |

4. 評価方法A

4.1 試験片 試験片は、中性洗剤で洗浄、水洗し、自然乾燥を行った後、測定器及びJIS Z 4401に適合する適当な大きさのものとする。試験片の数は、同一材質、同一核種につき3個とする。

4.2 試験液 試験液は、特に指定のない限り、表2による。核分裂生成物を用いる場合は、表3による。

なお、試験報告書の試験結果に、核種、水溶液の種類及びpHを付記する。

表2

| 核種 | 水溶液 | pH | 計数率 ($\text{min}^{-1}/0.1 \text{ ml}$) | 備考 |
|--|--------|-----|---|-------------|
| ^{137}Cs 又は ^{134}Cs | 塩酸又は硝酸 | 2~4 | $1 \times 10^3 \sim 5 \times 10^4$ | 担体は特に添加しない。 |
| ^{60}Co , ^{144}Ce 又は ^{147}Pm | | | | |